



マイナンバーカードでさらに便利に

# マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました

令和3年10月20日から現在お持ちのマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました。事前に申し込みが必要になりますので、専用サイト「マイナポータル」で申し込み手続きをしてください。

スマートフォンをお持ちでない方や、操作方法が分からない方のために、保険年金課窓口で、申し込みのサポートを行っています。

①マイナンバーカード、②利用者証明用電子証明書の4桁の暗証番号をご用意のうえ、ご来庁ください。

## メリット

- ・就職・転職をしても健康保険証の発行を待たずに医療機関を受診することができます。(従来通り、保険者への異動届などの手続きは必要です)
- ・限度額適用認定証などが無くても限度額以上の支払いが不要になります。

(注意)すべての医療機関で使用できるわけではありませんのでご注意ください。利用可否については受診する医療機関などにお問い合わせいただくか、厚生労働省のホームページでご確認ください。



問 保険年金課 ☎(55)7119

## あいさい見聞録

その37 冬の植物、柊



2021年度はあいさいの四季を訪ねます。冬は、マツやツバキなど一年を通して葉を付けている常緑植物が重宝されます。例えば、松、竹、樺(ゆずり)は、南天、柊(ひいらぎ)などは正月飾りの縁起物として利用されています。

樺は、冬は常緑のまま、春になって新しい葉が出てくると、居場所を譲るように落葉する特徴を持つため、古くから世代交代・子孫繁栄の象徴として、縁起物になっています。

昨年年末、あるアート展で、出展者が巨大なクリスマスツリーを作成し、茅ノ輪に見立てて来場者がリースくぐりをした、という記事が新聞に掲載されていました。クリスマスリースと茅ノ輪は、確かに円形という形状は似ている?、そこで、両者の由来を調べてみると、「魔除け」という共通の概念があり、作者の意図に感じしました。そして、クリスマスリース材料の一つに西洋柊があります。柊は葉の縁がとげとげ状となっているため、日本でも「魔除け」として、古くから門飾りなどに利用されてきました。

ただし、クリスマスリースに使われる西洋柊と門飾りに使われる日本原産の柊は植物学的には別種です。西洋柊はモチノキ科、日本の柊はモクレン科、西洋柊の実が赤いのに対し、日本の柊の実は黒褐色で区別が付きません。さらに、日本の柊は10月に白い花を咲かせ、キンモクセイに似た香りがします。



問 市観光協会 ☎(55)9993